

第23回 三保連合同シンポジウム

内科系学会社会保険連合
外科系学会社会保険委員会連合（担当）
看護系学会等社会保険連合

総合テーマ 令和6年度診療報酬改定の評価

日時：令和6年3月5日（火）18:30～20:00

会場：大村進・美枝子記念 聖路加臨床学術センター
日野原ホール

事前受付はございません。
ハイブリッド開催ではなく、現地参加のみになります。
当日多数の方のご来場をお待ちしております。

問い合わせ先：

外科系学会社会保険委員会連合（外保連）事務局
TEL:03-6709-1033 FAX:03-6709-1034
E-mail: office@gaihoren.jp

第23回 三保連合同シンポジウム

内科系学会社会保険連合・外科系学会社会保険委員会連合・
看護系学会等社会保険連合

総合テーマ 令和6年度診療報酬改定の評価

日時：令和6年3月5日（火）18：30～20：00
会場：大村進・美枝子記念 聖路加臨床学術センター
日野原ホール

【シンポジウムのねらい】

今回の三保連シンポジウムは、令和6年度診療報酬改定の評価をそれぞれの立場から発信していただきます。ウクライナ・ロシアやイスラエル・ハマス間で戦闘が続いており、円安、エネルギー価格の高騰など様々な理由で諸物価が高騰しています。民間企業であればイノベーション、DX、市場価格への転嫁などで、賃金上昇なども含めある程度対応が可能ですが、統制価格で運営されている医療機関では診療報酬への転嫁ができないこと、主に対面で業務を行っていることから人件費／収益比率が高いことに加え、民間の賃金が大幅に上昇し医療機関でも追従せねばならないこと、イノベーションなどの効果もあまり期待できないことより、令和6年度診療報酬改定では大幅なプラス改定を望んでいたところ、政府より本体改定率が+0.88%と発表されました。全体ではマイナス改定であり決して満足できるわけではなりませんが、この改定率をもとに、今後社会保障審議会の基本方針に沿って中医協で個々の診療報酬の増減が検討されることとなります。

本シンポジウムが開催される3月上旬には、具体的な増点・減点が公表されていますので、各領域において令和6年改定を評価していただき、メディアの皆さんと一緒に活発な意見交換を行いたいと考えています。

【プログラム】

1. 開会の挨拶（18：30～18：35）

岩中 督（外保連会長 地方独立行政法人埼玉県立病院機構）

2. 講演（18：35～19：35）

司会：岩中 督（外保連会長 地方独立行政法人埼玉県立病院機構）

1) 内保連における2024年度（令和6年度）診療報酬改定の評価（20分）

待鳥 詔洋（内保連副理事長 国立国際医療研究センター国府台病院）

2) 看保連における2024年度（令和6年度）診療報酬・介護報酬の評価（20分）

山田 雅子（看保連代表理事 聖路加国際大学）

酒井 郁子（看保連副代表理事 千葉大学）

3) 外保連における2024年度（令和6年度）診療報酬改定の評価（20分）

瀬戸 泰之（外保連会長補佐 東京大学胃食道外科教授）

3. 総合討論（19：35～19：55）

司会：小林 弘祐（内保連理事長）、山田 雅子（看保連代表理事）、岩中 督（外保連会長）

4. 閉会の挨拶（19：55～20：00）

瀬戸 泰之（外保連会長補佐 東京大学胃食道外科教授）